

「長恨歌」「長恨歌伝」を味わう

平安時代の貴族階級に最もよく読まれた文学作品の一つが唐の文学者白楽天により作られた「長恨歌」である。玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋がこれほどまでに有名になったのはひとえにこの作品による。7言120句、都合840文字の大部の作品をじっくりと味読する。なお、白楽天の友人が「長恨歌」によせて作った伝奇小説「長恨歌伝」を併せて味わう。

●日程及びテーマ

回	月 日	テ ー マ
第1回	5月16日(木)	玄宗皇帝と楊貴妃との出会い
第2回	5月23日(木)	二人の愛の日々と楊貴妃の死
第3回	5月30日(木)	玄宗皇帝の異郷での傷心の日々と帰京
第4回	6月 6日(木)	楊貴妃を失った玄宗皇帝の寂寥の日々
第5回	6月13日(木)	楊貴妃の魂の探索と発見
第6回	6月20日(木)	愛の日々の追憶と尽きせぬ恨み
第7回	6月27日(木)	長恨歌伝・前半
第8回	7月 4日(木)	長恨歌伝・後半



●講 師 野原 薫 滋賀文教短期大学 国文学科 非常勤講師
担当科目:伝統文化Ⅱ

●時 間 14:00～16:00

●定 員 20名

●会 場 滋賀文教短期大学 実習館1階 湖国カルチャーセンター

●受講料 6,500円

*テキスト(訓点を付けた原文、書き下し文、口語訳)は当カルチャーセンターでプリントを準備します。

●申込方法 はがき又はFAXにて

①講座名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号
を明記してください。*お電話での申込受付は行っておりません。

●申込締切日 5月9日(木)